

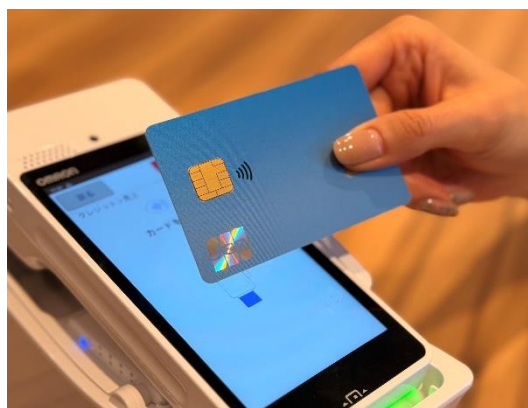
<報道関係各位>

株式会社ジェーシービー
大日本印刷株式会社

JCB と大日本印刷、指紋認証機能付き IC カードの 商用化に向けた実証実験を開始

～生体認証機能の追加によるセキュリティ向上、シームレスな決済の実現に向けた
ユーザビリティ検証の実施～

株式会社ジェーシービー（本社：東京都港区、代表取締役会長 兼 執行役員社長：二重 孝好、以下：JCB）は、大日本印刷株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：北島 義斉、以下：DNP）と、指紋認証機能が付いた IC カード（以下：指紋認証カード）を発行し、実証実験を開始します。



実施背景

近年、クレジットカードの不正利用が増加しており、より安全な決済手段へのニーズが高まっています。また一方では、キャッシュレス決済が生活者にとって身近なものとなり、「利便性を損ねることなく、かつ持つことに楽しみを感じられるものを持ちたい」といった多様なニーズも存在します。

JCB は、こうした社会的背景とニーズを踏まえ、利便性を損なわずに不正利用リスクを低減し、先進性も取り入れたカードの実現に取り組んできました。その取り組みの一環として、**“指紋認証カードの商用化に向けた実証実験”を実施**します。

指紋認証カードのメリットについて

現在、IC カードでの非接触決済（タッチ決済）では、一定の金額以上の決済の場合、暗証番号入力が必要です。一方で、スマートフォンによる非接触決済では取引時の本人認証ができているため、金額上限なく、暗証番号入力が不要となります。

指紋認証カードでは、取引時にカード上で指紋認証による本人認証ができるため、スマートフォンと同様

に金額上限のない非接触決済が可能となります。また、IC カードを挿し込む接触決済でも、指紋認証にて本人認証を行うため、暗証番号入力が不要となります。指紋認証機能を導入することにより、**カード会員様の利便性を高めながら、セキュリティの高い決済が可能**となります。

指紋認証カードは、カード右下の指紋センサーにあらかじめ登録しておいた指を乗せることで、本人認証が完了します。指紋認証処理はカード内で完結するため、店頭で新たな認証端末などを導入する必要はありません。

実証実験について

JCB は 2018 年に非接触決済に特化した指紋認証カードの実証実験を実施しています。今回の実証実験では、商用化に向けてさらに一歩進め、接触決済・非接触決済の操作性、指紋認証成功率、決済端末との相性、日常利用でのストレスの有無を、1 都 3 県の加盟店で実際に指紋認証カードを利用することにより検証します。実証実験では DNP が、JCB 社員に本年 2 月より本カードを発行します。より多様な決済環境での安全・安心と利便性を叶えるクレジットカードとして、商用化を強く見据えた取り組みを実施します。

DNPの役割

DNP は今回の実証実験に向けて、指紋認証機能を搭載したカードの製造と、パーソナライズの仕組みを提供します。このカードは、DNP が開発した指紋認証対応の決済アプリケーションを搭載した、タッチ決済対応の指紋センサー付き IC カードです。既存の決済端末での動作確認を行い、実運用を想定した設定仕様の策定などを技術面から支えます。

JCBについて

JCB は 1961 年に設立し、日本発唯一の国際カードブランドを運営する企業として、JCB カードを利用できる加盟店ネットワークを展開するとともに、アジアを中心に国内外のパートナー企業と JCB カードの発行を拡大しています。また、総合決済サービス企業の実現を目指し、お客様やパートナー企業の皆様の期待にお応えする様々な事業を展開しています。国内外で 1 億 7 千万以上の会員様にご利用いただいています。(2025 年 9 月末現在)

DNPについて

DNP は、1876 年の創業以来、幅広い事業分野で多様な製品やサービスを提供する世界最大規模の総合印刷会社です。個人を特定して管理・証明するデジタル・アイデンティティ・ウォレットの社会実装を目指して、IC カード事業で培った認証・セキュリティ技術で、安全なネットワークの構築とデータの管理ルールの標準化に取り組みます。

JCB は、「おもてなしの心」「きめ細かな心づかい」でお客様一人ひとりのご期待に応えていきます。そして「便利だ」「頼れる」「持っていてよかった」と思っただけ、お客様にとっての世界にひとつをめざし続けます。

以上